

# 大雨・台風時の行動を確認しよう

## お住いの地域のリスクを把握しましょう

台風や線状降水帯など、多くの雨量が想定される場合は土砂災害や洪水などの被害が予想されます。「土砂災害・洪水ハザードマップ」を確認して、危険なエリアを把握しておくことが大切です。



## 情報収集

天気予報などのニュースを日頃から確認する習慣をつけましょう！

## 避難情報等

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報(気象庁)

大雨が予想される場合などは町からの避難情報に注意してください。

避難情報等は町のホームページ、防災情報メール、おおいそ防災・行政ナビ、Twitterなどで発信しています。おおいそ防災・行政ナビでは、防災行政無線の内容を確認することができます。右の二次元バーコードからダウンロードして、情報を入力できる準備をしておきましょう。

## おおいそ防災・行政ナビのダウンロードはこちら

放送が聞こえづらい地域や、放送の内容をもう一度確認したい方など、アプリで簡単に確認することができます。



## 避難行動

避難行動を確認し、早めの避難を心がけましょう！



警戒レベル4では必ず避難してください。特に高齢者や障がいのある方、小さいお子さんがいるご家庭など、ご自身での避難が困難な方は警戒レベルにかかわらず、早めの避難を心掛けてください。地域で支え合いながら、安全な場所に避難しましょう。お近くの避難場所はおおいそ防災・行政ナビやVACAN Mapsで確認できます。

※浸水が浅い、家屋倒壊の危険性が低い場合等は、無理に外に出ず自宅で安全な場所に避難してください。

## 避難所情報 VACAN Maps

アプリのダウンロードは不要です。



### 土砂災害の場合

崖など土砂災害が発生しそうな場所から離れ、頑丈な建物の上階に避難しましょう。



### 洪水の場合

河川から離れ、高台や頑丈な建物の上階に避難しましょう。

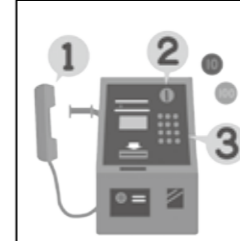


## 指定緊急避難場所及び指定避難所への避難

お近くの指定緊急避難場所や指定避難所を把握しておきましょう。避難する際には、食料や生活必需品などを持ち出せるように日頃から準備しておくようにしましょう。



## 公衆電話の使い方を教えておく



- ① 受話器を取る
- ② お金を入れる
- ③ 番号を押す

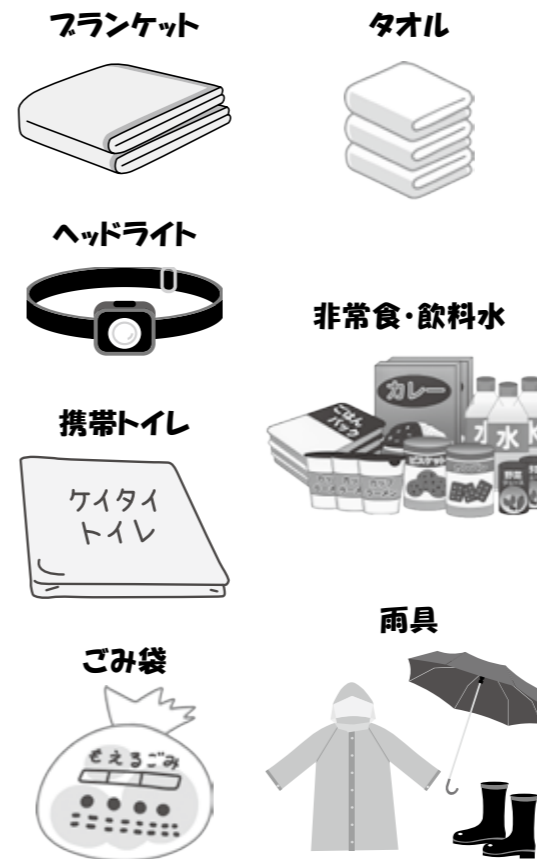
災害用公衆電話(特設公衆電話)は、災害時における通信手段を確保するために、非常用回線を用いて誰でも無料で使用できる公衆電話です。現在、町の指定避難所5か所に2台ずつ整備しています。(設置は災害時のみ)。



公衆電話は、災害時の連絡手段のひとつです。スマートフォンが普及する中、公衆電話の使い方を知らない子どもが増えています。日頃から使い方を教えておくことで、いざというときに役立ちます。常に小銭と、保護者の電話番号を書いたメモを持たせておく、より安心です。

## 非常用持出し袋を備える

### 非常用にプラスするアイテム例



被災後の数日間を避難先で過ごすことを想定して、非常用持出し袋を備えておきましょう。普段旅行する際に持っていくものをアレンジして非常用持出し袋を作ることができます。

### 非常用持出し袋作りのポイント

- ① 避難所に行くことを想定し、持ち運びやすいリュックやかばんを用意する。
- ② まずはいつも旅行に持っていくものを入れてみる。
- ③ 非常時に必要だと思うものをプラスする。